



水郷大橋

千葉県香取市佐原

二〇一四年四月



流域面積で日本一を誇る利根川、河口まで四〇キロもあるこの辺りでもゆったりと流れる。

広い河原の草原からヒバリがまっすぐ飛び上がる。大きく翼を羽ばたかせながら空中に止まりパイパイパイとさえざる。雄の縄張りの主張だ。すると、間もなく百〜二百メートル離れた所に別のヒバリが舞い上がりパイパイパイと応戦。

上流側の水郷大橋は利根川の部分だけで五三〇m、取り付け部分も含めると一キロもある。対岸の樺やポプラ、満開の桜が小さく小さく見える。絵の右端に見えるのが横利根閘門。霞ヶ浦に繋がる横利根川と利根川の水位を調節して船を通す。ゆったりと広い河原。スケッチブックを見開きにして描いた。

ボストンマラソンは無事に、でもイエーメンやアフガンでは？

ボストンマラソンでは、昨年、爆弾テロがあり、死傷者が出た。今年は厳戒態勢の中で行われ無事に終了した。昨年、テロに遭って、二人とも片足を失った夫婦が、ハンドサイクルでゴールという微笑ましい情景も見られた。

米国だけが被害者か？

イエーメンやアフガンイスタンでは、米軍の無人機から、結婚式の会場や、お葬式の車列にミサイルが撃ち込まれる例がいくつも。例えばこんな風に。

米国に住むS中尉(仮称)は、家族と一緒に朝食。四歳のお嬢さんの頬にキスして出勤。無人機の操縦ブースに座った。上官から「アフガニスタンの東経XX度YY分ZZ秒、

北緯SS度TT分UU秒にあるアルカイダのアジトを攻撃せよ」と命令。無人機をそこに向けると何人かが建物に入るところだった。これだ！ミサイル発射。命中。成功！！

爆発！あれ？白いドレスが宙を。我が子と同じ位の女の子がよろよろと出て来た。建物周辺には正装した人々が右往左往。結婚式だったのだ。

S中尉は「誤情報では」と上官に詰め寄った。「アルカイダを逃がすな。怪しければやつつける」とかわされた。

これって米軍によるテロではないのか？アルカイダだとして裁判なしに処刑できるの？ボストンの何人がこんな情景に思いを馳せたのだろうか？こんなこと考えるのっておかしいかな？